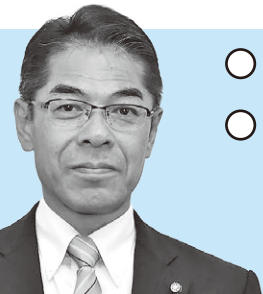


新風会・公明  
竹内和順  
議員



○ 勝山市民憲章の制定について  
○ 道の駅隣接地への企業誘致について

その他の質問

- ・水上市政の発信力について
- ・勝山市立中学校再編計画（案）について

**問** コロナ禍でなくとも、最近、地域社会の人と人の結びつきが薄れている。しかし、生活の場となる地域社会での営みには、地域住民の連携、住みよい地域社会づくりが肝要と考える。

**答** 勝山市民一人ひとりが互いに横のつながりをもつことが求められ、それを理念としているのが市民憲章である。勝山市民憲章の制定について、市の考えを伺う。

**答** 少子高齢化が進む中、地域コミュニティの活力を維持するためには、住民が互いに横のつながりをもって安全安心な地域を築こうとする結びつきの力が、今後ますます重要になると考える。

そのためにも、市民一人ひとりが共通して持つべき目指す市民像を掲げ、それを地域や日常生活の中に浸透させていくことが必要であると考え、第6次勝山市総合計画の策定作業の中でまとめていく。

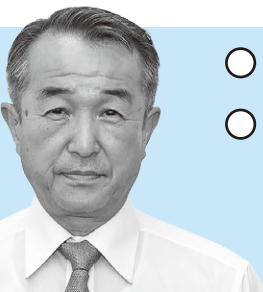
**問** 道の駅の隣接地を商業施設誘致、および企業誘致を兼ねた産業団地の整備、宿泊施設の誘致等、一体的開発事業として土地開発公社に委託した。

**答** 現在、コロナ禍にあって、地方がクローズアップされている。また、県もこのほど新制度を打ち出して企業誘致の後押しをしてくれている。企業誘致等の進捗状況を伺う。

**答** 誘致の現状については、飲食、物販、収穫体験、宿泊施設などの提供を考えている複数の民間事業者からの進出要望を受け、現在協議を進めており、民間事業者のスピード感に対応するため、早急に事業者を決定したいと考えている。

また、そのために県の補助事業の最大限の活用を図っていく。  
議員「紹介の県の企業誘致に関する新制度については、道の駅隣接地に限らず、市全体の企業誘致活動に活かしていきたい。」

新風会・公明  
安岡孝一  
議員



○ 小規模事業者の支援について  
○ すべての人にデジタル化の恩恵をについて

その他の質問

- ・新型コロナウイルスのワクチン接種について
- ・男女共同参画社会と女性活躍の推進について

**問** 長引くコロナ禍で、小規模事業者に大きな影響が出ている。とりわけ飲食業者、仕出し業者（魚屋さん）、宿泊業者の影響は深刻である。福井県独自の緊急事態宣言の発出で、客足が遠のいている。

**答** 市では、バス・タクシーの利用券を無料配布して、バス・タクシー会社を支援しながら、地域経済の活性化を図り、2回目の「勝ち山飯食べて応援クーポン」や市独自の「プレミアム付きお食事券（第2弾）」の発行を予定している。

**答** しかし、長引くコロナ禍で深刻な影響を受けている事業者に対して、今こそ政策を総動員していくべき時ではないか。勝山市の経済の基盤を担う事業者をどのように下支えをしていくのか、市の所見を伺う。

**答** 6月補正において、経済的に特に大きく影響を受けている事業者に向けた新たな支援策を計上している。ホームページ等で周知するとともに、勝山商工会議所と連携して情報発信していく。

**問** デジタル庁が本年9月1日に発足することになった。新たな技術を積極的に導入し、デジタルトランスフォーメーション（DX）主体に改革を進めようとするものと考えている。

**答** しかし、現状では情報格差が生じてしまい、高齢者がデジタル化の恩恵を受けられないと思う。高齢者が楽しくスマホやインターネットを使いこなし、若い世代と同様にデジタル化の恩恵を受けることが大事ではないか。

**答** 行政のデジタル化で高齢者が取り残されないよう、情報格差の解消に向けた施策の検討をお願いしたい。

**答** 総務省は、本年6月から全国約1800ヶ所を中心に高齢者のデジタル活用を支援する講習会を開始するなど、幅広い取り組みを促していくとしている。  
国の施策と連携し、「誰ひとり取り残さない、人に優しいデジタル化」の実現に取り組んでいく。